

## JALSG 第74回運営委員会 議事録

1. 日時：2018年6月23日（土）16時5分から16時50分まで

場所：名古屋大学医学部附属病院 中央診療棟A 3階講堂

2. 議題：

1) 運営委員会成立報告

開会に先立ち、JALSG代表宮崎氏より本会には運営委員出席79人、委任状出席39人、計108人の出席が得られ、全127構成施設選出委員の三分の二以上の出席となりJALSG規約に基づき本運営委員会の成立が宣言された。

2) 平成29年度事業報告

宮崎氏より別紙資料に沿って報告が行われた。

3) 幹事会報告

①JALSGのNPO化と今後の体制について

宮崎氏より、JALSGの現組織体制とNPO化後の体制について説明、2018年8月を目処に定款を定めて窓口申請し、2019年4月から新NPO体制の開始を予定している事が報告され、承認された。

②データセンターについて

宮崎氏より臨床研究法への対応として、OSCR、名古屋医療センターへのデータセンター業務の移行を進めていくこと、また、JCCG造血器腫瘍グループとの連携の継続および研究計画立案段階からデータセンター、名古屋医療センター内の統計専門家の参加について提議され、承認された。

③常設委員会委員長について

宮崎氏よりセントラルレビュー委員会（染色体に関する委員会）委員長について谷脇雅史氏、プロトコール審査委員会については薄井紀子氏の継続依頼が提案され、承認された。

施設審査・監査委員会については、宮崎氏より、新規参加施設の審査等、委員会の職務上から当委員会委員長はJALSG内部からの選出が望ましいことが説明され、小林幸夫委員長の後任として藤田浩之氏を委員長とすること、また、小林氏の外部委員としての同委員会委員の継続について提案、承認された。

④財務状況について

宮崎氏よりJALSGの財務状況、清井氏より、30周年記念国際シンポジ

ウム会計について報告された。

#### 4) 常設委員会報告

- ①施設審査・監査委員会小林氏より、新規参加施設として鳥取大学医学部附属病院の参加が紹介され、同施設福田氏より施設紹介が行われた。
- ②宮崎氏より、松江赤十字病院の会費納入状況、活動状況含めた現状について報告され、規約に沿った対応を含め、今後の対応については宮崎氏に一任することが提案され、承認された。
- ③検体保存・付随研究委員会麻生氏より、以下の3点について周知、報告された。
  - 1) 同委員会委員 熊本大学 松野氏の異動に伴い、同大学 徳永賢治氏へ交代。
  - 2) 同委員会委員 小林氏の異動に伴い、ALL213、CML212 研究の保存検体については、保存施設の埼玉医科大学国際医療センターへの変更が計画され、今後、事務局よりプロトコール改訂に関して連絡予定である。
  - 3) 現在計画中の試験プロトコールに関して、プロトコール審査委員会への提出と共に、検体保存・付随研究会への研究計画書の提出も必要である。
- ④施設審査・監査委員会小林氏より、多摩北部医療センターの子施設から親施設へ変更、および昨年度の施設監査実施状況とその結果報告が行われた。

#### 5) 各種プロジェクトの提案

- ・ 金沢大学石山氏より、CS-11 研究の付随研究として「前向き観察研究に登録された骨髄異形成症候群症例における、同種移植までの橋渡し治療と移植成績の検討」が提案され承認された。
- ・ 名古屋大学早川氏より、「ALL の新規分子病型を探索する国際共同研究」、上海交通大学の Dr. Huang より計画された、今までに論文報告された小児・成人 ALL における遺伝子解析結果のメタ解析を行い、新たな分子病型とその予後を検討する研究への該当症例の臨床情報（生存期間）の提供について提案され、承認された。
- ・ 都立駒込病院名島氏より、AML201 研究、ALL202 研究データを利用した「化学療法に伴う感染症エピソードが及ぼす、同種移植成績への影響に関する研究」について提案され、承認された。
- ・ 埼玉医科大学国際医療センター前田氏より、APL97 および APL204L 研究データを利用した、高齢者 APL に関する解析について提案され、承認された。
- ・ 豊橋市民病院杉浦氏より、Ph+ALL202、208、213 研究の各試験データ

を統合した、Ph+ALLにおけるTKI治療と同種移植療法に関する解析について提案され、承認された。

6) 論文執筆状況・学会発表について

- ・ 支持療法委員会細野氏より以下の3点の学会発表、論文発表について報告された。
  - 1) AML201 試験での感染症発症状況についての論文が、横浜市立大学の加藤英明氏を筆頭著者として、国際支持療法学会(MASCC)の機関誌「Supportive Care in Cancer」に受理。
  - 2) 本年10月にSan Franciscoで開催される米国感染症関連学会合同国際会議(IDweek)で、「AML87からAML201の寛解導入療法時の感染症発症の変遷」に関する研究がポスター発表に採択され、横浜市立大学の加藤氏が発表予定。
  - 3) 本年の米国血液学会に、AML201の血流感染症と肺感染症に関する研究について、同委員会藤田氏を筆頭発表者として抄録投稿予定。
- ・ 名古屋大学早川氏より、ALL2020-EWS研究の遺伝子解析結果が今秋の日本血液学会学術集会で発表予定である事が報告された。
- ・ 福井大学山内氏より、2018年3月に韓国血液学会にて、AML201研究の地固め療法に関する発表を行ったことが報告された。
- ・ 豊橋市民病院杉浦氏より、Ph+213研究について来年度の欧州血液学会、米国血液学会での発表を行う予定である事が報告された。

最後に清井氏より、これら学会発表、論文発表の予定については、事務局への連絡依頼がなされた。

7) 会議開催予定について

定例会議：2018年10月11日（木）大阪国際会議場  
合同班会議：2018年12月22日（土）名古屋大学

以上 （文責 JALSG 事務局長補佐 石川裕一）